

KOMAKI Innovation Challenge

スタートアップと行政職員が協働する新たな地域課題解決プロジェクト



KOMAKI Innovation Challenge

スタートアップと行政職員が協働する新たな地域課題解決プロジェクト



ご参加ありがとうございます。
15時から開始しますので、
もうしばらくお待ち下さい。

KOMAKI Innovation Challenge

スタートアップと行政職員が協働する新たな地域課題解決プロジェクト



オンライン説明会
2024年2月13日(月)15時～16時30分

本日の流れ

コンテンツ	時間
イントロダクション	15:00～15:01
小牧市ご紹介	15:00～15:05
KOMAKI Innovation Challengeの事業概要	15:05～15:15
各課題説明（担当課より）	15:15～15:35
ブレイクアウトルームでの担当課との質疑応答	15:35～15:55
よくあるQ&Aの紹介、全体QA	15:55～16:05
クロージング	16:05～16:10
（希望者のみ）担当課との質疑応答②	16:10～16:25

小牧市ご紹介



小牧市の紹介

人口：149,545人
(令和6年2月1日現在)
面積：62.81km²

●小牧市マスコットキャラクター



史跡小牧山



交通拠点



小牧市中央図書館
(2021年グッドデザイン賞受賞)



桃の名産

小牧市の紹介

こども 夢・チャレンジNo.1 都市宣言のまち

「こどもを中心に世代を超えて、市民がつながり、支え合う、住みよいまち」

「夢・チャレンジ 始まりの地 小牧」

小牧山は、織田信長公が天下統一の夢を描き、
そのチャレンジの第一歩として初めて城を築いた地。

わたしたちの掲げる「夢・チャレンジ」の象徴として相応しい地です。
小牧市は、その小牧山をみつめ、これからの未来を担うこどもたちが、
夢を描き、挑戦していける地となれるよう全力を注ぎます。

こどもの夢への挑戦をまち全体で、みんなで応援する。
そのことが、世代を超えた市民のつながりを生み、
全ての市民が支え合っていけるまちづくりになると確信します。



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki

小牧市の紹介



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

小牧市は令和3年度「SDGs未来都市」に選定されました

【提案内容】（抜粋）

- ・若者世代から支持される魅力あふれるまち
- ・健康と支え合いが循環するまち
- ・循環型社会による環境にやさしいまち



小牧市のこれまでの取り組み

■ 小牧市デジタルイノベーション推進計画 (一部抜粋)

■ ICT・データ活用指針

指針1 デジタル バイ デフォルト

真に利便性の高いサービスを実現するため、これまでのサービスの在り方や手続方法を見直します。新たに実施していく取組については、費用対効果を考慮し、デジタルを基本かつ原則として実施していきます。

指針2 データの利活用推進

データの活用を円滑にするため、市が保有するデータの把握、整理を行い、「使用できる形でのデータを保持」します。データを収集・作成・蓄積する段階からデータの活用・公開を前提とした業務を行います。

指針3 ユーザビリティの追求

情報格差(デジタルデバйд)に配慮し、利用者の立場で、使いやすさ・分かりやすさを重視したサービス・業務を設計、提供します。サービス提供後も、随時見直しを行います。

■ 行政手続きのオンライン化



先進的なデジタル技術を用いた課題解決を広く募集
従来のやり方に囚われない様々なチャレンジを推進

KOMAKI Innovation Challenge
スタートアップと行政職員が協働する新たな地域課題解決プロジェクト



みなさまへ

**「夢・チャレンジ始まりの地 小牧」を
共に盛り上げてくださる皆様の
ご参加をお待ちしております！！**

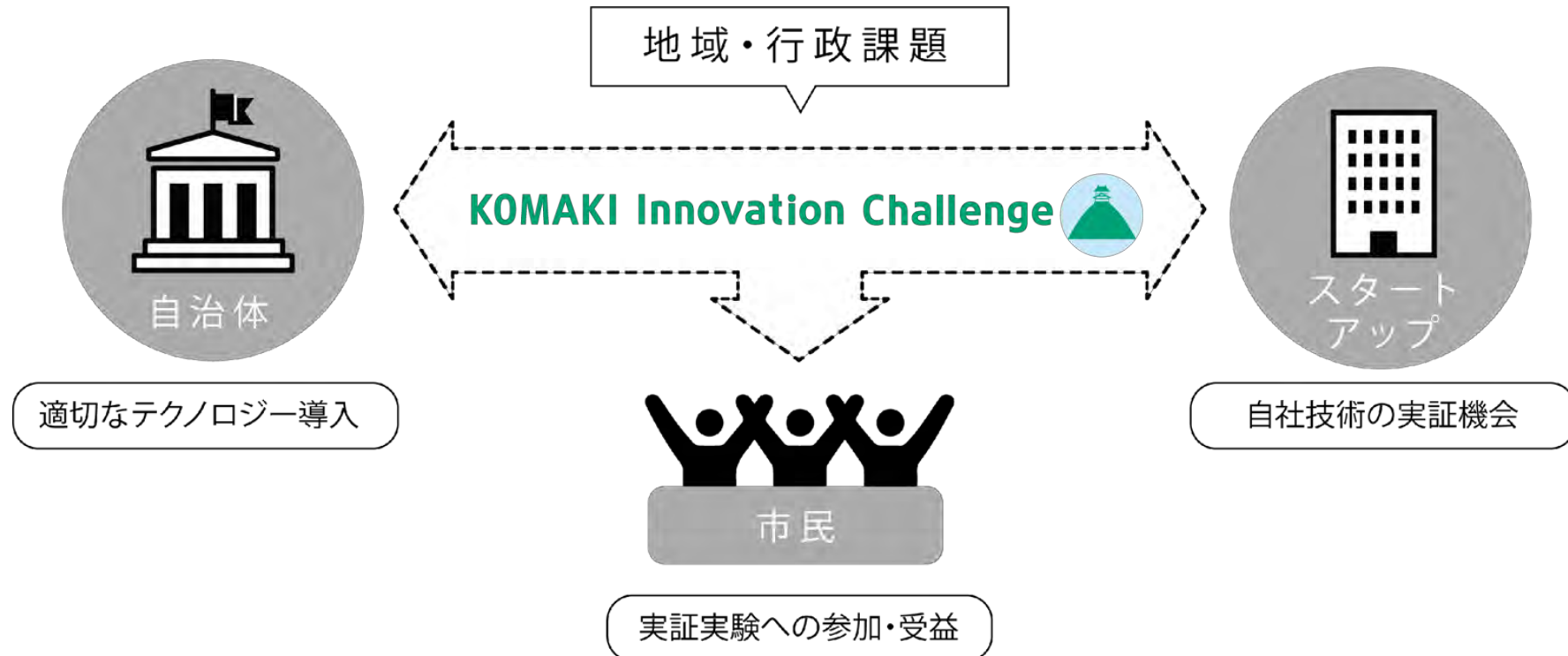


KOMAKI Innovation Challenge概要



KOMAKI Innovation Challengeとは？

市職員とスタートアップが協働して
行政課題や社会課題の解決に取り組むことで、
市の課題解決と企業の成長を目指す取り組み



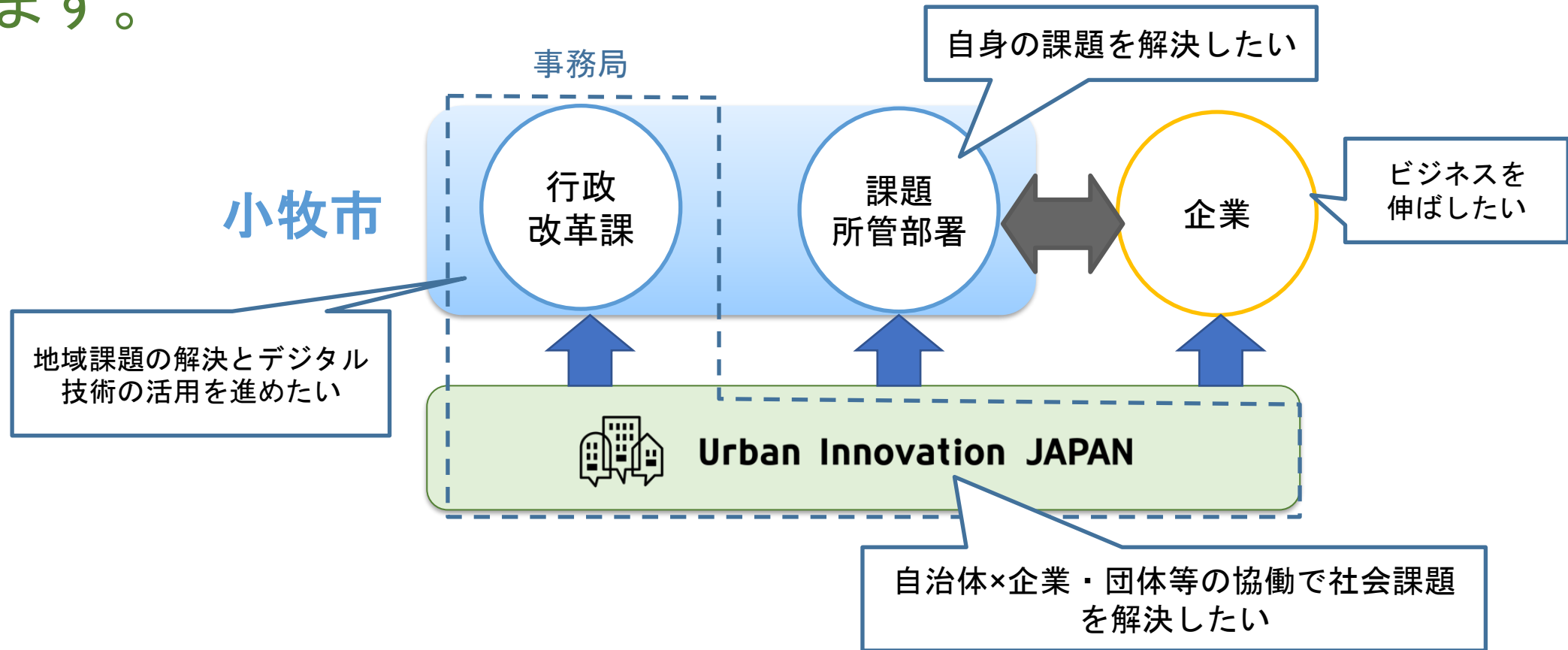
募集テーマ

テーマ	担当部署
市民の声・データを元にした、 より効果的な交通安全対策を行いたい！	市民安全課
高齢者の生きがい探しを支える情報発信を！ ～こまきフレイル予防プロジェクト～	健康生きがい推進課
「時間がかかりすぎる…」相談記録作成の自動化で、 もっと支援の質を高めたい！	福祉総務課



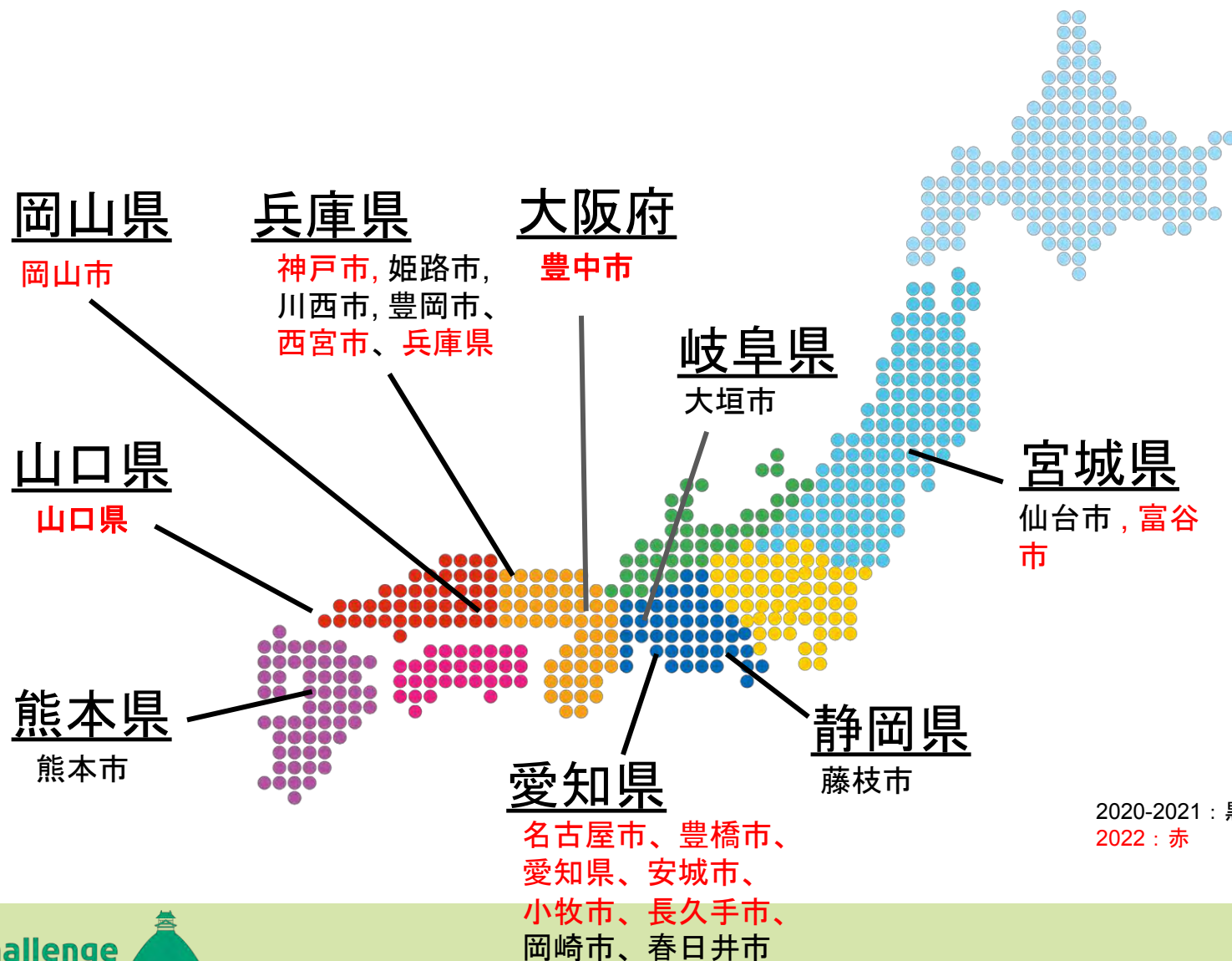
プロジェクト実施体制

行政改革課デジタルイノベーション係とUrban Innovation Japanが事務局となり、課題所管部署と企業の協働を支援します。



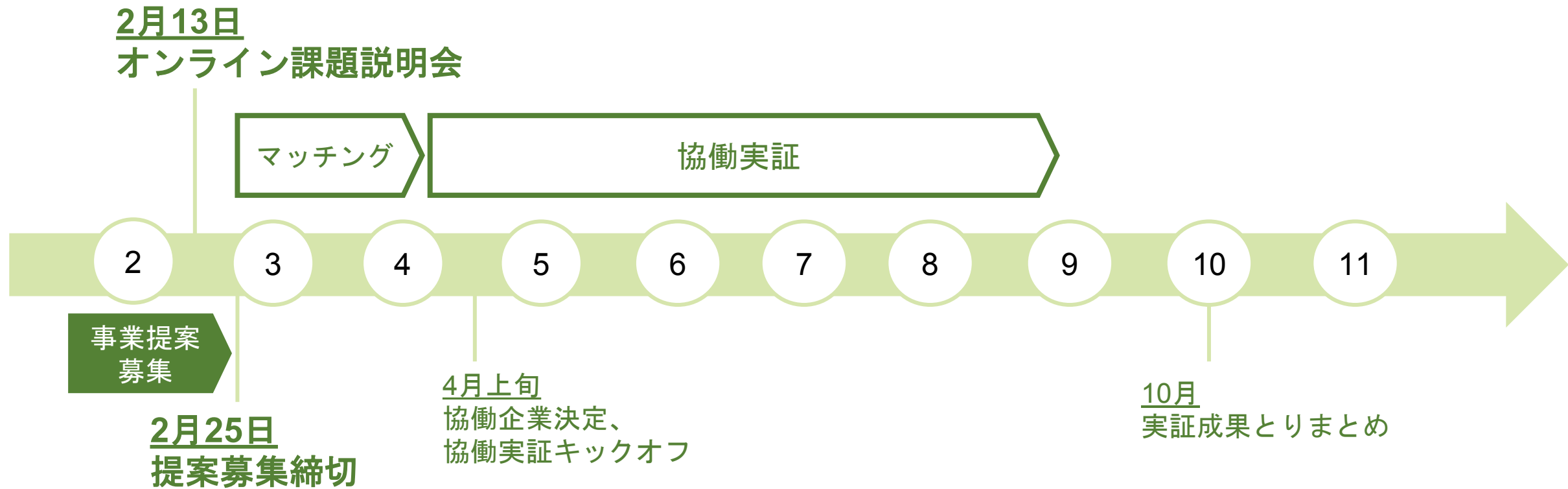
(参考) Urban Innovation JAPANの実績

2018年からスタートし、累計22自治体で同種事業の支援を実施



全体スケジュール

※2月現在の予定ですので、変更の可能性がございます



企業等への期待・実施いただきたいこと

1

課題解決のアイデア・技術

企業等の技術やノウハウを基にした課題解決アイデアのご提案。

2

実証実験の企画・実施

担当課職員と協働で実証実験を進める。特に技術的なサポートを期待。
※事務局も企画・実施をサポート

3

成果報告サポート

実証実験成果のデータ集計や考察などの取りまとめをサポートいただく。



ご提案企業のメリット

PR効果

製品・サービスのテスト

本格導入・他自治体への展開



3つのサポート



実証補助 最大50万円/課題



実証フィールドの提供



行政職員とUIJ事務局の
プロジェクトサポート

昨年度の実績（メディア掲載）

中日新聞 2022年(令和4年)10月14日(金曜日)

ふん害対策 小牧山周辺で実験

カラスよ山へ 音で誘導

カラスの寝床となっている小牧山（小牧市）の周辺で、ふん害対策として、カラスが警戒時に発する鳴き声を利用し、電線などに止まるカラスを山へ誘導する実験が始まった。実験を担うベンチャー企業「クロウラボ」の塚原直樹代表は「音に反応して警戒する様子もみられた。効果を期待できる」と話す。

「カー、カー」。小牧山近くの商業施設の駐車場に設置されたスピーカーから四日、山に向けてカラスの鳴き声が流れた。すると、近くに止まっていたカラスたちが周囲を見渡し、飛び立っていった。塚原さんは、動物行動学が専門の宇都宮大特任助教で、カラスの生態を約二十年前に「コミュニケーション」として研究してきた。その成果を社会に生かすため、二〇一七年にカラス対策が専門のクロウラボを立ち上げ、これまで大府市や青森県八戸市などでも音を使った対策を実験してきた。

塚原さんは、小牧山は開場となる市街地や農村地に近く、カラスにとって「居心地の良い寝床」だという。カラスは就寝前に寝床周辺に集まる習性があり、その時にするふんが道路などを汚す。実験の狙いは、周辺の電線などに止まらず、山下早く帰ってもらうことだ。

実験では立体駐車場のほか、山近くのビルにもスピーカーを設置。各所にカメラも置き、カラスの行動を記録する。塚原さんは「山からカラスをいなくすることもできるかもしれないが、別の場所に移動しただけ。うまくすみ分けし、共存していければ」と話す。

小牧市での実験は、市が本年度に始めた新事業「Urban Innovation KOMAKI（アーバン・イノベーション・コマキ）」の一環。市が抱える地域課題の解決のアイデアを企業・団体から募り、市が実証実験の支援金を出して応援する事業で、塚原さんの実験は来年一月末まで行われる。成果が出れば、市と本格的に契約する可能性がある。

警戒時の鳴き声利用「効果 期待できる」



カラス2000羽 VS 秘密兵器 10年来のフン害に終止符を！ 市役所の作戦は...

© 中京テレビ

有効？ 大群カラスのフン害を防ぐ秘策はスピーカーから「鳴き声」

愛知・小牧市



効果は抜群だ!!!



応募方法



Urban Innovation JAPAN

自治体とスタートアップをマッチング

UIJとは

課題を探す

実証事例

応募時のポイント

Q&A

自治体向けページはこちら

実証に応募する

小牧市 (愛知県)

「夢・チャレンジ始まりの地」――戦国の昔、織田信長公が小牧山に城を築き、天下統一に向けて夢・チャレンジの第一歩を踏み出した地であり、郷土の先人が培ってきた「チャレンジする精神」は今も小牧市に引き継がれています。現在は、誰もがデジタル化の恩恵を受け、豊かさを実感できるまちを目指すため、デジタル技術を活用した課題解決＝デジタルイノベーションに積極的にチャレンジしています。こうした中、解決したい課題はあるけれど、良い技術が見つからない。世の中にはもっと良い技術や新しい考え方があるのではないか。今までにはない新しい方法で課題解決にチャレンジしたい。そんな思いからこの『KOMAKI Innovation Challenge』を立ち上げました。私たちが抱える行政課題について、デジタル技術を活用して、課題解決のため一緒に「夢・チャレンジ」してくださる熱い思いを持った皆様のご参加をお待ちしております！

本プロジェクトの説明会情報はこちら！ >

実証に応募する

募集中



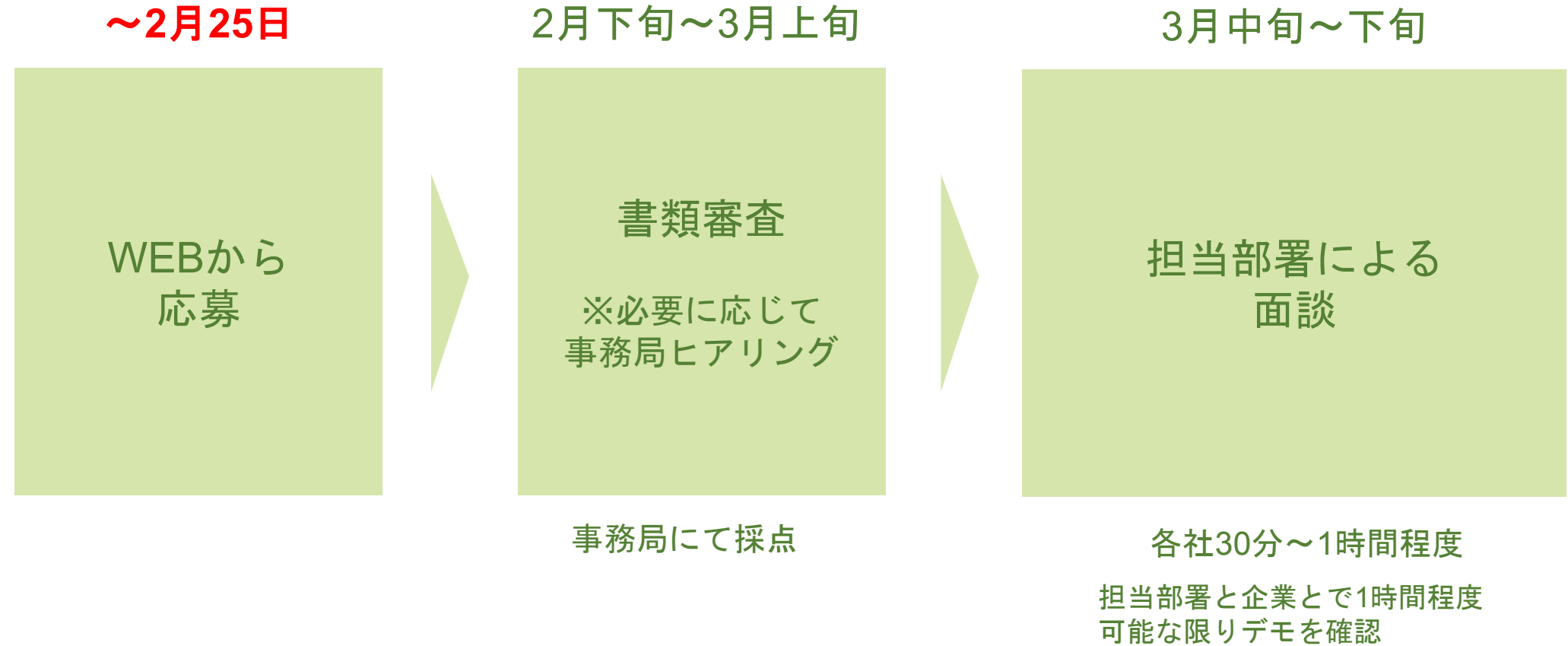
小牧市
02.25
まで

KOMAKI Innovation Challenge

スタートアップと行政職員が協働する新たな地域課題解決プロジェクト



選考プロセス



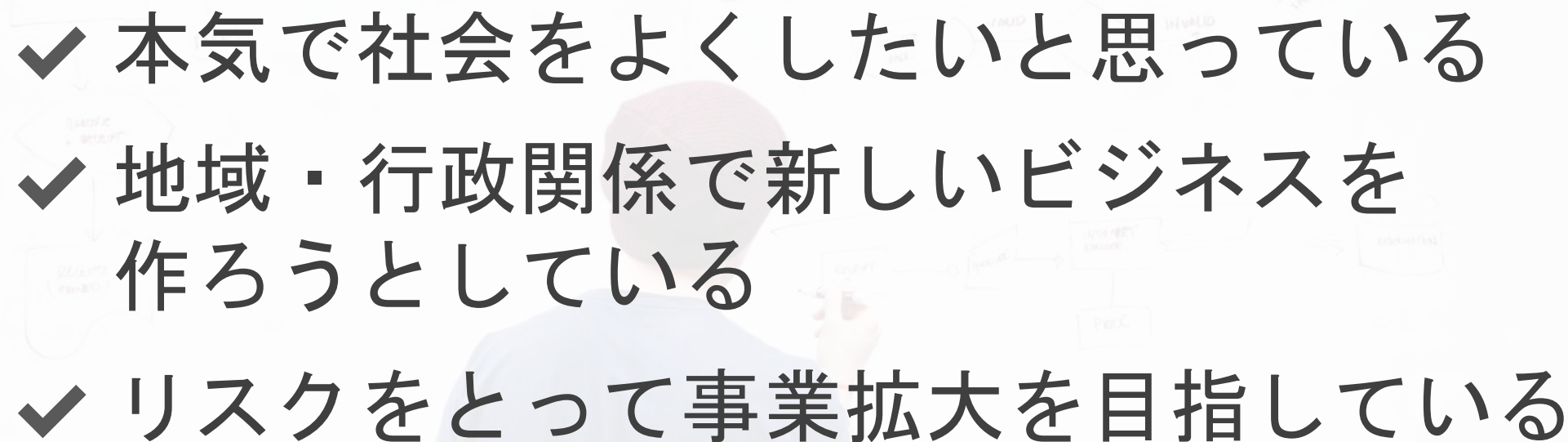
二次選考（zoom面談）のスケジュール

期間：2024/3/18-19

課題	担当課	日程候補
市民の声・データを元にした、 より効果的な交通安全対策を行いたい！	市民安全課	3月18日（月）
高齢者の生きがい探しを支える情報発信を！ ～こまきフレイル予防プロジェクト～	健康生きがい 推進課	3月19日（火）
「時間がかかりすぎる…」相談記録作成の自動化で、 もっと支援の質を高めたい！	福祉総務課	3月18日（月）

※応募件数や諸事情により別の日時に調整する可能性もございます

[illegible]

- 
- A woman with dark hair, wearing a blue long-sleeved shirt, is pointing her right index finger towards the text. The background is a light gray with a faint, large-scale flowchart or organizational chart pattern. The text is presented in three lines, each starting with a large black checkmark.
- ✓ 本気で社会をよくしたいと思っている
 - ✓ 地域・行政関係で新しいビジネスを作ろうとしている
 - ✓ リスクをとって事業拡大を目指している

担当課 課題説明





市民の声・データを元にした、
より効果的な交通安全対策を行いたい！
(市民安全課)

1. 解決したい課題、実現したい未来



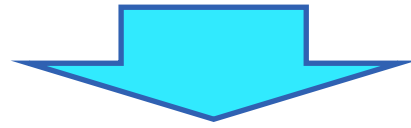
【背景・事情】

- ・ 東名・名神高速道路、中央自動車道、名古屋高速道路
- ・ 国道41号、国道155号が交わる広域交通の結節点
- ・ 空の玄関口である県営名古屋空港にも近接



【地元から寄せられる声を頼りに対策】

- ・ 多くの車両が行き交い、時間帯によって渋滞が発生
- ・ 抜け道として生活道路を通り抜ける車両が多い
- ・ 通学の時間帯と重なり、危険！



【データを活用した交通安全】

季節や時間帯ごとの車両速度や交通量などを把握することで、危険箇所を抽出し、エビデンスによる効果的な交通安全対策を実施する。



2.これまでの取り組み

看板の作成、配布



交通安全街頭啓発



交通安全教室



ストップマーク配布



交通死亡事故ゼロの日
市内巡回広報



3.今回取り組みたい実証内容



4.実証で実現したいゴール

私たちの実現したい未来は

誰もが安心して便利に通行できる
道路環境を整えることです！



ご応募お待ちしております！

【将来を見据えた取組み】
警察や土木関連・道路関係機関と連携する
ことで、より広い範囲で活用される可能性
のファーストステップ！





高齢者の生きがい探しを支える情報発信を！
～こまきフレイル予防プロジェクト～
（健康生きがい推進課）

1. 解決したい課題、実現したい未来

課題

講座・イベント情報が散乱

特に、**高齢者**は欲しい情報にたどり着いていないのでは？

未来

- 高齢者が講座・イベント情報を手軽に入手できる
👉 新規参加者数の増加
- 似通った講座・イベントの集約、関連付け
👉 より魅力的な事業展開（経費削減、労力軽減）

外出機会 



フレイル対策の充実



2.これまでの取り組み

さまざまツールで情報発信



市広報



市SNS



市ホームページ



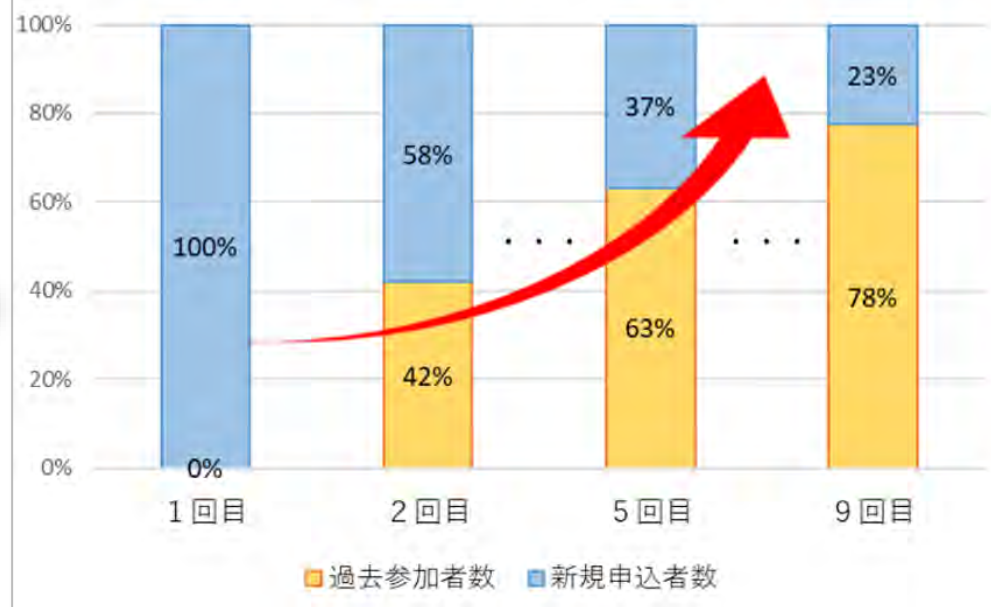
チラシ（窓口）

何を見ればいいのか...



情報が行き届いていない!?

講座の申込み者のうちリピーター率



3.今回取り組みたい実証内容

高齢者が出かけたくなる情報発信の検証・模索

例えば…市民向けの講座・イベント情報がまとまったWEBサイトによる集客の検証の場合

講座・イベント情報を登録できる機能

将来的には、社会福祉協議会などの庁外の機関からも情報登録ができるようになる

自分にあった活動を見つけやすくなる機能

開催日時、年齢、内容などで検索できるなど、様々な検索方法

自身の住んでいる場所から行きやすい活動を見つけやすくなる機能

マップ表示されるなど、高齢者が自分の行動範囲内の取組みを検索できると◎

上記のWEBによる検証以外でも、

高齢者が出かけたくなる仕組みづくりを模索したい！

4.実証で実現したいゴール

人生100年時代。高齢者の生きがいづくりのために
自分のため、家族のため、お友だちと一緒に気軽に外出。

健康で、生きがいのある
笑顔であふれるまちを目指して

STEP
UP!



ご協力いただける企業の皆様、ご提案をお待ちしています！



「時間がかかりすぎる…」
相談記録作成の自動化で、
もっと支援の質を高めたい！
(福祉総務課)

1. 解決したい課題、実現したい未来

解決したい課題

生活困窮者から寄せらせる相談の記録を、速やか・簡単に作成したい

実現したい未来

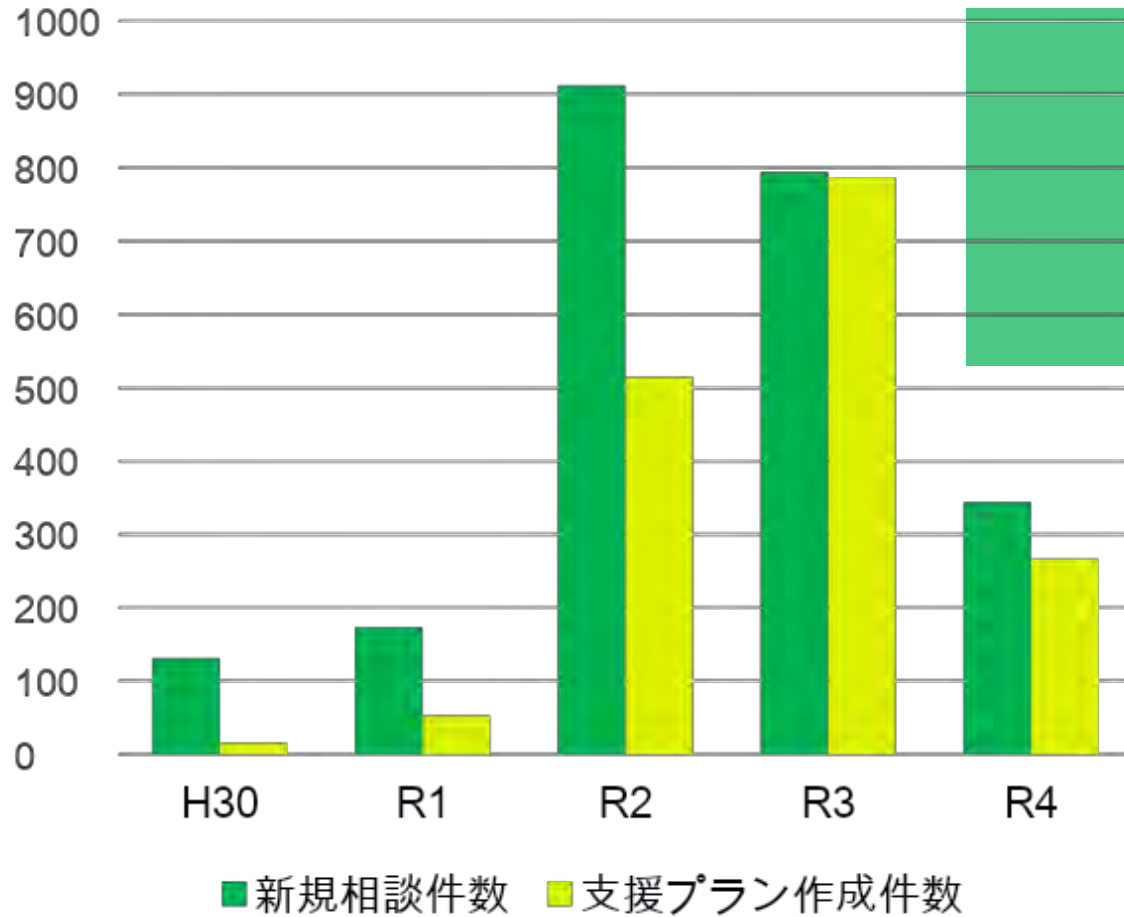
相談記録の作成に費やす時間を短縮し、相談支援員のスキルアップ研修やケース検討に時間を活用して、生活困窮者支援の「質」の向上を目指す

相談時間が4時間以上に
及ぶことも、、、



2.これまでの取り組み

生活困窮者自立相談支援事業の状況



新型コロナの影響で、、、

- ・ **相談件数の増加**
- ・ 相談内容の**複雑化・複合化**

〈相談体制強化への取組〉

- ① 相談支援員の増員
- ② 複数人での相談対応

3.今回取り組みたい実証内容

- ① 面談と同時&自動で相談記録を作成！
- ② 文字起こしだけでなく自動で要約も！
- ③ 発言者（相談者・相談支援員）の識別
- ④ 作成データの既存様式への変換や作成



可能であれば！

4.実証で実現したいゴール

スピーディな記録作成・情報共有

行政



相談支援員のスキルアップ
他の支援機関とのスムーズな連携

企業



他市・他業種への横展開
社会貢献



相談者

相談者の負担軽減
的確・迅速な支援

「相談記録の自動化」の実証実験 に力を貸してください！

よくある質問

Q. 実証支援金を超える費用がかかった場合は請求できますか？

A. 今年度の実証にかかる費用でお支払いできるのは、課題1件あたり50万円（税込み）上限となっています。超過する部分については、ご負担をお願いします。

Q. 実証範囲が広いため提案が難しいと感じています。

A. 担当部署自身が、4ヶ月の実証実験でどこまで実施できるか、大変なことなのかを明確に理解できていないケースもあります。逆に、企業の立場として、期間的に検証が難しいなど考える場合、優先順位を付けるとするなら、どこに重点を置いているかなどご確認頂ければと思います。

よくある質問

Q. 提案前にもう一度担当部署と話したいのですが。

A. 提案前に個別に担当部署と面談することはできません。今日の時間内にぜひご確認ください。審査の中で担当課と面談の機会がございますので、その際に詳細なすり合わせが可能ですので、まずはご提案いただけますと幸いです。また、最終審査前に提案書の更新も可能です。

Q. 担当課の抱える課題と自社の提案とに多少のズレがあります。

A. 基本的には担当部署では思いつかなかったような解決策を募る事業ですので、広く提案を受け付けております。可能な範囲で、今日の時間内にすり合わせ頂ければと思います。また、審査の中で企業側からも、取り組む価値があるかを判断頂くことができますので、まずは是非応募をご検討ください。

担当課との課題QA (ブレイクアウトルーム)



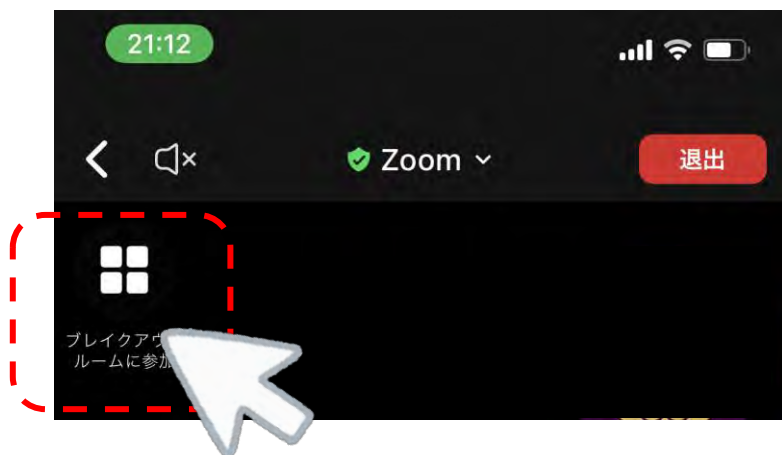
課題QA ブレイクアウトルーム（20分）

■入室方法

画面下部のブレイクアウトルームボタンを押し、部屋を選択して、入室してください。



スマホの方は、画面左上のボタンから入室してください。



課題QA ブレイクアウトルーム

【お願い】

- 課題ヒアリングの場合なので、分からないことは何でも聞いてください。
- ただし、何が正解か、担当課の中でも決まり切っていない可能性もあります。
- 競合する企業同士かもしれませんが、カメラをオンにしていただけると会話しやすくなります。
- 課題解決に向けた前向きな議論を一緒にしましょう。
- 本日は担当課との質疑の場です。ご提案の熱い想いは応募フォームへ！
- KOMAKI Innovation Challengeの事業に関する質問（契約や支援金について）は、のちほど全体のQAとして、お答えします。

全体Q&A



お問い合わせ

詳しい募集要項はホームページをご覧ください。

 実証支援金 最大 50万円 市民の声・データを元にした、 より効果的な交通安全対策を行 いたい！ 小牧市 市民安全課 交通	 実証支援金 最大 50万円 高齢者の生きがい探しを支える 情報発信を！～こまきフレイル 予防プロジェクト～ 小牧市 健康生きがい推進課 健康・医療 広報・広聴	 実証支援金 最大 50万円 「時間がかかりすぎる…」相談 記録作成の自動化で、もっと支 援の質を高めたい！ 小牧市 福祉総務課 保健・福祉・介護 窓口
--	---	---

ご質問は以下の事務局メールアドレスまでご連絡ください。
※担当課への直接のお問合せはご遠慮ください。

連絡先

KOMAKI Innovation Challenge事務局 / Urban Innovation JAPAN事務局
urban_innovation_japan@communitylink.jp

アンケート

説明会へのご参加ありがとうございました！

以下のアンケートへ回答いただくと、本日使用した資料のダウンロードが可能です。ぜひご協力お願いします。



皆さまのご応募を
お待ちしております！



課題QA ブレイクアウトルーム (延長戦)

